

東海教区での日々

栄光教会 内藤 文子



27才の時、保育士を辞め神学校に入学した時を思うと、まさに行く先を知らないで故郷を出た自分。神にすべてを委ねた旅のスタートでした。約25年あまりを東海教

区で過ごし、皆さんと主にあって歩めて感謝でした。

すこし紙面を頂いて、私が牧師（教職）となるまでを振り返りお伝えしたいと思います。神学校に入るまで、JELCには、お一人門脇聖子先生しか、女性教職はいませんでした。それから20年あまり、女子神学生はいても、他教派に変わったり、牧師にはならなかったり…。神学校で新吾さんと出会い学生結婚して、夫婦で教職を目指し、1991年卒業し、二人で接手を受けました。特に、女性会連盟は、励まし支えてくださいました。しかし派遣される時、「夫婦教職の制限」という規則が設けられました。今では考えられないのですが、*夫婦教職は同居が原則で、任地を与えられるのは、夫婦1名のどちらか。*もう1名は「教師資格者で、教区の要請により、説教などに派遣され働く」というものでした。夫・新吾師は希望教会（現在：なごや希望教会）の主任牧師となり、私は説教奉仕者

として説教に呼んで頂きましたが、他牧師の休暇などに呼んで頂く、年3回ほどの奉仕のみでした。自分でも、「接手を受けた牧師に、任地がなく、働きは開かれないのか？」と問いかける日々でした。

さて、しかしこのおかしさにすぐ反応してくれたのは、東海教区教師会でした。「接手を受けた内藤文子牧師にも任地を与えるべきだ。」と、全国常議員会を通し、全国総会で協議され、次の年には「夫婦教職の制限」は撤廃され、夫の教会からの通いとなりましたが「柴田教会（現在：名古屋めぐみ教会）」の主任牧師として派遣されることとなりました。夫婦教職はJELCでは初めてでしたので、全国常議員会にも不安要素があったのでしょうか。しかし、任地が与えられ喜びいっぱい務め始めた私でした。それから、柴田教会～岡崎教会・刈谷教会（兼任）。38歳の高齢出産で男の子を一人育てました。三遠地区では、子どもを連れて説教奉仕に行くことも多かったのですが、各教会は暖かく迎えて下さり、礼拝中には託児もしてくださいました。その息子も現在24歳です！

栄光教会では、単身赴任で7年務めました。教区常議員も6年。多忙でも、充実して喜びにあふれた、主に仕える日々でした。東海での日々、心より感謝いたします！

CONTENTS

巻頭言	1
新任教職紹介	2

ぶどうの欄	3～4
-------	-----

新 任 教 職 紹 介



岐阜教会・大垣教会 徳 弘 浩 隆

昨年4月から大垣・岐阜教会の牧師として赴任しました。以前は事務局にもおりましたし、昔から中高生キャンプや全国伝道セミナーなどで各地を訪ね、助けていただきましたので、色々な方と知り合い、お世話になっていました。しかし、東海教区牧師として働くのは今回が初めてです。10年のブラジル宣教師の外国暮らしの後で、逆カルチャーショックもありますし、浦島太郎状態の面もあれば、昔いた西教区や東教区と異なる歴史や雰囲気もある東海教区で戸惑いもありましたが、意外とすんなり馴染んでいるように思っています。

派遣された両教会は、信徒説教者や奉仕者が育てられ、よく奉仕をしてくださっています。たくさんの家庭集会もあります。あゆみの家という社会福祉法人や、岐阜ダルクという薬物依存症からの回復施設の関係もあり、勉強しながら取り組んでいます。従来集会や働きを大切にしながら、それ以外の伝道の働きを起こしてもう一回り大きな群れにすることが、将来のためにも自分の使命と思っています。

より「伝道」にシフトして集会や働きを調整し、最初の3年で結果が出せるように、「いろいろやってみて、失敗してもゆるしてください」と許可をもらい、取り組み始めました。町内会や防災訓練、地域の小中学生とのつながり、教会食堂など、色々取り組んでみました。ブラジルで気づかされた異国に暮らす方々への伝道と奉仕もあります。外国にルーツを持つ子どもたちの学習支援NPOに妻と参加してきました。教会でも何かと思い、出会った外国人の方々と連絡を取り、待ち、「失恋する」かのように待ちぼうけを味わい、一喜一憂しながらでした。外国人集住団地があるわけでもなく、苦心してきましたが、ようやくインドネシア人、ブラジル人、ヴェトナム人のクリスチャンと出会い、彼らの強い願いで教会での日本語教室も始まりました。教区内の教会に外国人集会が起こりそうなら、お呼びくだされば時々お助けに出かけます。

教区でも自分より若い牧師先生ばかりになっている状況に驚きながら、教区になじみながら、任された地の宣教に取り組みたいと思っています。よろしく願いいたします。



名古屋めぐみ教会 小 澤 周 平

こんにちは。はじめまして。小澤周平と申します。2019年4月から、名古屋めぐみ教会にて牧会の務めを与えられました。

教会、保育園、そして、子育てと、慌ただしい一年間が過ぎようとしています。その毎日とはとても充実していますが、日々の働きでは失敗ばかり。それでも、名古屋めぐみ教会の方々のお祈りとお支えと忍耐力に守られて、なんとか牧師として立つことができています。素晴らしい兄弟姉妹の群れに加えられたこと、心から神様に感謝しています。加えて、嬉しい報告としましては、妻の実紀の音楽伝道の働きが用いられ始め、そして、息子の大河が教会と保育園に生まれ想像以上にすくすくと成長しています。逆に、嬉しくない報告としては、私のお腹周りもまたすくすくと成長している様子でしょうか…。

さて、今回、「東海教区での働き」というテーマを与えられました。正直、未だ、教区の働きには十分に目を向けられていませんが、教区や地区での集会や会議等の折に皆様のお話をうかがうことがあります。それぞれの教会において、教会内での少子高齢化、役員等の世話役の成り手不足、そして牧師不足など、いくつかの課題を聞きました。全国的な教会の課題は、東海教区においても同様なのだと感じました。ただ、別の視点でお話ししますと、東海教区には大きな財産があることも分かりました。宣教師たちの伝えた岩に立つ信仰生活が継承されていること、学びを含めみことばを受け取ることへの意識が高いこと、その表れとしても関連施設の活動とその支援活動が豊かなこと。いずれも、尊い小さな働きの積み重ねなのだ学びました。

今後、私が向き合う東海教区での働きは、それぞれの教会や施設の歴史を知り、信仰生活を営まれてきたお一人お一人の証をうかがうことだと思えます。この地において、何が語られ、何が大切にされてきたのか。神様は私たちをどのように導こうとしておられるのか。お話を聴き、共に祈っていきたいです。そして将来は、これらの財産をふさわしく継承していくことが私たちの世代の課題になることでしょうか。これからもどうぞよろしく願いいたします。

受洗の欄

(18年1月～12月)



受洗・堅信を受けられた方々

おめでとうございます(敬称略)

3月18日	吉井 正三	(挙母)	4月3日	日野 俊夫	(みのり 83歳)
4月1日	伊藤 英士	(清水)	4月15日	中村 和雄	(知多 86歳)
4月1日	岩田眞理子	(なごや希望)	4月18日	江塚 玉江	(浜名 86歳)
4月1日	小澤 大河	(なごや希望)	4月27日	片岡美津子	(名古屋めぐみ 83歳)
5月20日	亀谷 愛	(名古屋めぐみ)	4月30日	安藤 享子	(みのり 81歳)
8月5日	伊藤 鶴吉	(掛川菊川)	5月9日	細川千代子	(なごや希望 81歳)
8月5日	奥野 心和	(名古屋めぐみ)	5月15日	杉山 松枝	(みのり 100歳)
8月13日	森脇 禎	(栄光)	6月1日	石川文一郎	(小鹿 85歳)
10月28日	藤井 英博	(静岡)	6月9日	増田 尚子	(小鹿 94歳)
12月17日	中島 正彦	(栄光)	7月24日	植田 春水	(名古屋めぐみ 95歳)
12月23日	内山 大地	(栄光)	9月6日	近藤 洋子	(みのり 78歳)
12月23日	杉浦 佳子	(岡崎)	10月7日	金澤 郁子	(なごや希望 92歳)
12月23日	長峯 節子	(名古屋めぐみ)	10月18日	中嶋 宣子	(掛川菊川 70歳)
12月28日	小原 實	(名古屋めぐみ)	11月4日	大森きみ子	(浜松 94歳)
			11月26日	重野信之牧師	(挙母 78歳)
			12月26日	塚原サカエ	(静岡 94歳)
			12月28日	小原 實	(名古屋めぐみ 83歳)
			12月29日	水野 恵三	(なごや希望 81歳)
			12月29日	白川 昭二	(挙母 54歳)

召天された方々

主の慰めをお祈りいたします(敬称略)

1月16日	梅村 隆治	(挙母 79歳)
1月21日	杉本 清子	(名古屋めぐみ 79歳)

【東海教区の教会】

《東静地区》

- 静岡教会
- 小鹿教会
- 清水教会
- 富士教会
- 沼津教会

《駿遠地区》

- 新霊山教会
- 栄光教会
- 掛川菊川教会

《三遠地区》

- 刈谷教会・挙母教会
- 岡崎教会・みのり教会
- 浜松教会・浜名教会

《尾張岐阜地区》

- 岐阜教会・大垣教会
- 高蔵寺教会・復活教会
- なごや希望教会
- 名古屋めぐみ教会

受洗の欄



19年1月～12月

受洗・堅信を受けられた方々

おめでとうございます (敬称略)

3月17日	川口 留可	(富士)	3月27日	小林 文江	(名古屋めぐみ)	84歳
4月21日	滝波 明人	(静岡)	4月1日	大岩正己牧師	(知多)	83歳
4月21日	鈴木 祥子	(浜松)	4月20日	鈴木 璋	(岡崎)	81歳
4月21日	杉浦 悠太	(岡崎)	5月7日	金原 由枝	(清水)	85歳
4月21日	池田 祥子	(なごや希望)	5月21日	河瀬 鈴子	(名古屋めぐみ)	83歳
6月9日	岡野 州真	(名古屋めぐみ)	6月4日	佐々木花子	(刈谷)	97歳
6月24日	伊藤 泰彦	(沼津)	7月7日	前原 静枝	(名古屋めぐみ)	97歳
12月15日	鈴木 幸	(浜松)	7月16日	井上 頼彦	(静岡)	84歳
12月22日	植松 暑子	(富士)	8月1日	齋藤 定義	(沼津)	78歳
12月22日	山浦 圭晴	(名古屋めぐみ)	8月22日	伊藤 泰彦	(沼津)	76歳
12月27日	赤尾 愛子	(浜松)	10月1日	瀬古 利子	(名古屋めぐみ)	78歳
召天された方々			10月13日	岩瀬 敏子	(なごや希望)	89歳
2月27日	早瀬 康平	(岡崎)	11月1日	鈴木 莊市	(浜名)	85歳
主の慰めをお祈りいたします (敬称略)			11月5日	中島 正彦	(栄光)	71歳
			11月6日	内海 貞	(栄光)	91歳
			11月10日	安藤 毅	(みのり)	80歳
			12月6日	白井田鶴子	(みのり)	83歳
			12月24日	宗 知信	(静岡)	97歳
			12月31日	水野 禮子	(栄光)	80歳

編集後記

近年、社会が不穏な状態で動いています。一部の人が「勘違い」を持って行動しています。無力感に襲われそうになりますが、主を中心にして心寄せ、主の平和を実現できるよう祈り続けましょう。隣人とともに。

(M)

発行日：2020年3月31日
 発行：日本福音ルーテル教会
 東海教区広報委員会
 事務所：〒457-0006 名古屋市南区鳥栖 1-15-32
 TEL 052 (823) 8612
 発行者：内藤文子
 編集担当：室原康志 花城裕一朗 菊池幸子
 銀行口座：第三銀行新郊通支店 (普) 0681017
 郵便振替：00800 - 9 - 71510